

## 財産目録

平成31年03月31日現在

法人:社会福祉法人 長南町社会福祉協議会

事業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金		—		—	—	9,241,883
預金		—		—	—	9,241,883
房総信用組合長南支店(一般)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	6,163,883
房総信用組合長南支店(福祉金庫)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	535,985
房総信用組合長南支店(児童クラブ)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	1,423,791
房総信用組合長南支店(日常生活自立支援)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	39,791
房総信用組合長南支店(子育て交流館)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	344,335
房総信用組合長南支店(居宅支援)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	664,429
房総信用組合長南支店(訪問介護)	房総信用組合長南支店	—	運転資金	—	—	69,669
事業未収金		—		—	—	16,612,144
立替金		—		—	—	36,051
前払金		—		—	—	0
仮払金		—		—	—	0
流動資産合計						25,890,078
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
定期預金	長生農業協同組合長南支所	—		0	0	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	ユニットハウス(ダイワ)	—		420,000	419,999	1
車輛運搬具	日産セレナほか	—	事業用	8,617,962	6,921,184	1,696,778
器具及び備品	車いすほか	—	事業用	344,000	336,799	7,201
長期貸付金		—		0	0	316,044
長期貸付金		—	福祉金庫貸付金	0	0	316,044
徴収不能引当金		—		0	0	0
退職手当積立基金預け金	全国社会福祉協議会	—	将来における退職職員の退職金	0	0	31,602,200
退職給付引当資産		—		0	0	6,959,630
共助会退職給付引当資産	千葉県社会福祉事業共助会	—	将来における退職職員の退職金	0	0	6,959,630
積立資産		—		0	0	12,858,420
福祉金庫積立資産		—		0	0	11,172,378
千葉銀行	千葉銀行茂原南支店	—	貸付事業運転資金	0	0	1,168,860
房総信用組合	房総信用組合長南支店	—	貸付事業運転資金	0	0	10,003,518
福祉積立資産	長生農業協同組合長南支所	—	運転資金	0	0	1,686,042
介護事業積立資産		—		0	0	0
その他の固定資産		—		0	0	27,640
リサイクル料預け金		—		0	0	26,640
出資金	房総信用組合長南支店	—		0	0	1,000
その他の固定資産合計						53,467,914
固定資産合計						54,467,914
資産合計						80,357,992

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金		—		—	—	14,763,266
預り金		—		—	—	515,289
職員預り金		—		—	—	689,262
仮受金		—		—	—	0
流動負債合計						15,967,817
<b>2 固定負債</b>						
退職給付引当金		—		—	—	50,518,880
全社協退職給付引当金		—		—	—	43,559,250
共助会退職給付引当金		—		—	—	6,959,630
固定負債合計						50,518,880
負債合計						66,486,697
差引純資産						13,871,295

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。  
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。  
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。